



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月2日

上場会社名 ミツミ電機株式会社
 コード番号 6767 URL <http://www.mitsumi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森部 茂
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部部長 (氏名) 野口 晋弘
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東大

TEL 042-310-5333

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	131,621	△7.1	△5,599	—	△6,159	—	△21,707	—
23年3月期第3四半期	141,671	△13.0	△3,927	—	△5,013	—	△3,064	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △23,660百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △6,228百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△248.22	—
23年3月期第3四半期	△35.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	165,645	114,250	69.0
23年3月期	191,827	139,659	72.8

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 114,250百万円 23年3月期 139,659百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	20.00	20.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	167,000	△10.9	△9,000	—	△10,000	—	△31,500	—	△360.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	87,498,119 株	23年3月期	87,498,119 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	45,451 株	23年3月期	44,839 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	87,452,974 株	23年3月期3Q	87,454,219 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	5
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	7
(4) セグメント情報等.....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	7
(6) 重要な後発事象.....	7
4. 補足情報.....	8
(1) 生産、受注及び販売の状況.....	8
(2) 海外売上高.....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済の情勢を概観しますと、新興国において景気拡大基調は継続しましたが、その成長力には鈍化傾向が表れております。また先進国においては米国の輸出は増加し、年末商戦は堅調に推移しましたが、欧州における債務問題の深刻化により、景気は減速傾向にあります。

日本経済におきましては、震災からの復興需要もありましたが、資源価格の高騰、為替相場の円高の継続により、回復のスピードは鈍化しました。

当電子部品業界におきましては、スマートフォンやタブレット端末等の成長製品や車載関連製品市場は大幅に拡大しましたが、世界経済の減速により主力製品である薄型TVやパソコン関連製品市場の需要が減少し、夏場以降の景気低迷、タイの洪水影響により市場の不透明感が拡大しております。

当社グループにおきましては、アミューズメント関連製品は年末商戦に向け受注を伸ばしてまいりましたが、その他の用途で半導体デバイス、高周波部品等の売上が減少し、円高の継続、資源価格の高騰により収益を確保するにはいたりませんでした。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,316億2千1百万円（前年同期比92.9%）となりました。また、損益につきましては、固定費削減を中心とした改善を進めてまいりましたが、営業損失55億9千9百万円（前年同期の営業損失は39億2千7百万円）、経常損失61億5千9百万円（前年同期の経常損失は50億1千3百万円）となりました。四半期純損失は、当社及び当社連結子会社が保有する固定資産の帳簿価額を回収可能額まで減額し、125億6千6百万円の減損損失を計上するとともに、繰延税金資産の回収可能性を検討し法人税等調整額を25億4千万円計上した結果、217億7百万円（前年同期の四半期純損失は30億6千4百万円）となりました。

当第3四半期連結累計期間における製品集計区分別の業績は、次のとおりであります。

① 半導体デバイス

半導体デバイスにつきましては、モジュール関連製品及びデジタルAV機器向け製品の受注減少により、売上高は242億1千2百万円（前年同期比86.9%）となりました。

② 光デバイス

光デバイスにつきましては、携帯機器用カメラモジュールは増加しましたが、パソコン用カメラモジュールの一部不採算製品の整理により、売上高は89億3百万円（前年同期比90.2%）となりました。

③ 機構部品

機構部品につきましては、携帯電話用アクチュエータ・コネクタ・モータ等の汎用製品の受注が減少いたしました。アミューズメント関連製品が年末商戦に向け受注が伸長し、売上高は637億6千5百万円（前年同期比105.2%）となりました。

④ 高周波部品

高周波部品につきましては、セット製品の受注は拡大しましたが、無線LANモジュールの受注減少により、売上高は193億5千8百万円（前年同期比79.8%）となりました。

⑤ 電源部品

電源部品につきましては、薄型TV関連製品の受注減少により、売上高は133億7千6百万円（前年同期比88.2%）となりました。

⑥ 情報通信機器

情報通信機器につきましては、不採算製品事業の終息を継続的に進めてまいりました結果、売上高は20億3百万円（前年同期比51.1%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度に比べて261億8千1百万円減少し、1,656億4千5百万円となりました。これは主として、現金及び預金が12億8千1百万円、受取手形及び売掛金が45億2千5百万円、有形固定資産が155億3千万円減少したことなどによるものです。

負債合計は、前連結会計年度に比べて7億7千2百万円減少し、513億9千5百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が4億8千1百万円、賞与引当金が8億2千2百万円減少したことなどによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度に比べて254億9百万円減少し、1,142億5千万円となりました。これは、第1四半期に配当金の支払い、及び四半期純損失の計上により利益剰余金が234億5千7百万円減少したことや、円高による為替換算調整勘定が19億4千6百万円変動したことなどによるものです。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間における自己資本比率は、前連結会計年度に比べて3.8ポイント減少し69.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年11月4日に公表いたしました連結業績予想は、本資料において修正しております。

詳細につきましては、本日(平成24年2月2日)公表しております「業績予想の修正並びに特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,115	43,834
受取手形及び売掛金	63,624	59,098
製品	2,572	2,843
仕掛品	4,137	4,615
原材料及び貯蔵品	23,596	21,884
その他	4,812	2,442
貸倒引当金	△56	△51
流動資産合計	143,800	134,667
固定資産		
有形固定資産	39,814	24,283
無形固定資産	1,883	892
投資その他の資産	6,328	5,802
固定資産合計	48,026	30,978
資産合計	191,827	165,645
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,113	35,632
短期借入金	5,072	4,742
未払法人税等	477	425
賞与引当金	1,437	615
その他	7,142	7,800
流動負債合計	50,243	49,216
固定負債		
退職給付引当金	607	677
その他	1,316	1,501
固定負債合計	1,924	2,179
負債合計	52,167	51,395
純資産の部		
株主資本		
資本金	39,890	39,890
資本剰余金	43,252	43,252
利益剰余金	72,162	48,705
自己株式	△90	△91
株主資本合計	155,214	131,756
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	0
為替換算調整勘定	△15,560	△17,506
その他の包括利益累計額合計	△15,554	△17,506
純資産合計	139,659	114,250
負債純資産合計	191,827	165,645

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	141,671	131,621
売上原価	136,043	128,589
売上総利益	5,628	3,031
販売費及び一般管理費	9,556	8,630
営業損失(△)	△3,927	△5,599
営業外収益		
受取利息	71	82
受取ロイヤリティー	62	69
特許権使用料戻入額	198	—
その他	212	178
営業外収益合計	545	330
営業外費用		
支払利息	37	27
固定資産除却損	227	200
為替差損	1,145	458
その他	220	203
営業外費用合計	1,631	890
経常損失(△)	△5,013	△6,159
特別利益		
固定資産売却益	—	164
投資有価証券売却益	—	2
保険差益	63	—
受取和解金	—	96
特別利益合計	63	263
特別損失		
減損損失	—	12,566
特別退職金	—	87
特別損失合計	—	12,653
税金等調整前四半期純損失(△)	△4,950	△18,549
法人税等	△1,885	3,158
四半期純損失(△)	△3,064	△21,707

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
四半期純損失(△)	△3,064	△21,707
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	△5
為替換算調整勘定	△3,158	△1,946
その他の包括利益合計	△3,163	△1,952
四半期包括利益	△6,228	△23,660
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,228	△23,660
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社グループは、電気、通信機器の部品の製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当社は、収益力改善と平成 25 年 3 月期以降の成長力回復を実現するため、平成 24 年 2 月 2 日開催の取締役会において、緊急施策、及び成長に向けた戦略を決議しております。当該施策の一つとして、かねてより検討を行ってまいりました退職金制度の見直しにおいて、来期以降の固定費削減を目的に、移行措置として一部管理職社員に加えて一般社員を対象に、退職加算金を付加する施策を労働組合と協議を行っております。なお本施策により、当期第 3 四半期末の国内人員 2,836 人のうち 1 割程度の減少、当期に約 50 億円の特別損失の計上、来期に 20 億円超の固定費削減効果を見込んでおります。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績を製品集計区分別に示すと、次のとおりであります。

区分	生産高（百万円）	前年同四半期比（％）
半導体デバイス	24,134	86.4
光デバイス	8,909	90.6
機構部品	63,836	106.5
高周波部品	19,637	80.6
電源部品	13,494	89.1
情報通信機器	1,910	49.6
合 計	131,921	93.5

② 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績を製品集計区分別に示すと、次のとおりであります。

区分	受注高（百万円）	前年同四半期比（％）	受注残高（百万円）	前年同四半期比（％）
半導体デバイス	23,817	85.3	3,076	91.2
光デバイス	8,293	85.0	490	30.8
機構部品	63,792	101.7	5,675	95.4
高周波部品	14,969	59.4	2,880	43.9
電源部品	13,981	90.9	2,132	123.3
情報通信機器	2,012	52.7	133	55.3
合 計	126,867	87.6	14,388	74.0

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を製品集計区分別に示すと、次のとおりであります。

区分	販売高（百万円）	前年同四半期比（％）
半導体デバイス	24,212	86.9
光デバイス	8,903	90.2
機構部品	63,765	105.2
高周波部品	19,358	79.8
電源部品	13,376	88.2
情報通信機器	2,003	51.1
合 計	131,621	92.9

(2) 海外売上高

当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

（単位 百万円）

	ア ジ ア	欧 州	北 米	計
I 海 外 売 上 高	48,584	3,185	694	52,464
II 連 結 売 上 高				131,621
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	36.9	2.4	0.6	39.9